



2013年3月24日（日） 深夜1：25～2：20放送



不定期

関西テレビでは1958年の開局以来、さまざまなドキュメンタリーを制作してまいりました。1982年からは「ドキュメントα」の枠タイトルで、エリアに密着したドキュメンタリーを定期的に制作、2001年からは「ザ・ドキュメント」として、現在も単発ドキュメンタリーとともに、「その時代の、その地域に暮らす、その人々を」記録しています。

2013年3月24日（日） 深夜1：25～2：20

スタートラインに立てなくて 一黙殺される交通事故の被害者たちー

企画意図

「むち打ち」程度の交通事故と聞けば、「軽く済んだ」と思う人もいるだろう。しかし、その事故で長年苦しむ人達がいる。手足の麻痺、排尿障害、記憶障害、さまざまな症状が出るという。その多くは「頸椎ねんざ」「心因性」と診断されてきたが、最近になって脳の損傷によるものだと分かってきた。診断名は「軽度外傷性脳損傷」という。この「軽い」とされる事故の被害が普通の診療機関で見落とされ、被害者をさらに苦しめている。一般的なCTやMRIなどには小さな脳の傷が写らないからなのだ。そのため客観的な証拠を必要とする労災保険や自賠責保険では後遺症が認定されず、多くの人が泣き寝入りしている。近年になって医療界、法曹界、保険業界でも、こうした制度の狭間で苦しむ人がいることを認識し始めている。しかし詐病を恐れる余り、本当の被害も切り捨てられているのが現状だ。黙殺されている被害者の現状を伝えたい。

取材内容

ウェディングの仕事をしていた藤本久美子さん（38）。彼女は2008年に仕事中に上司の運転する車で交通事故に遭った。事故が起きたのは結婚式場の工事現場。整地されていない道を上司がスピードを出して運転、車の底面を強く打ちつけたのだ。エアバックが開きフロントガラスが割れたものの久美子さんには目立った怪我はなく、後日「むち打ち」と診断された。

しかし、症状は「むちうち」とは程遠いものだった。体の痛みがひどく、一日中家で横たわる生活。手や足には麻痺が出て、味も匂いもわからなくなった。働くどころか普通の生活すら出来ない状況なのだ。

しかし、医師からはその症状すら認めてもらえなかった。医師らが根拠にしたのは、MRI画像。彼女のMRI画像に異常が写らなかったため、「心因性」「気のせい」とされ、相手にしてもらえなかった。

その訴えが「気のせい」ではないと分かったのは、一年半以上たってから。東京で「軽度の外傷性脳損傷」だと診断されたのだ。最先端の画像診断では異常も判明した。

関ジャニ∞のジャニ勉



水曜 深夜0:35

NMBとまなぶくん



木曜深夜 0:35～
出演：NMB48、
かまいたち

ジャルやるっ！



金曜 深夜1:05
出演：ジャルジャル

情報WEBサイト「トクエモン」



番組からのプレゼントや試写会の情報は
こちらから！

2013年

5月11日 “家族”が別れるとき ～チンパンジーと研究員の14年～

5月5日 みんなの学校

3月24日 スタートラインに立てなくて 一黙殺される交通事故の被害者たちー

1月19日 境界を越える道 ―コリア国際学園の挑戦―

2012年

10月14日 平成24年度文化庁芸術祭参加 夢の途上 文楽・人間国宝の弟子たちー

9月16日 ずっと、笑顔で生きてゆく～和歌山県紀伊勝浦町 豪雨災害から1年～

8月4日 船乗りたちの戦争～徴用された民間船の記録～

5月19日 文楽のゆくえ～「橋下改革」と世界遺産～

3月10日 遠き故郷 ～南相馬から神戸へ…ある家族の一年～

2011年

11月5日 いのちの居場所～車いすから問う大震災～

8月6日 生き直し ～ある出所者の700日～

6月4日 高校4年の春

5月28日 脱北者たち 大阪・八尾に生きて…

2月12日 三人の酒蔵一社長とナナさんとウエキの冬ー

同じような状況に陥っている患者は少なくない。東京には「軽度外傷性脳損傷 友の会」があり、会員は100人にも上る。その多くが働けなくなったにもかかわらず、労災保険や自賠責保険で適切な後遺症認定がなされず、生活が困窮しているのだ。

この問題は2010年に国会でも取り上げられ、少しずつ注目されつつある。しかし、いま現在の患者は、現実的には医療・行政・司法すべてから見放れている状況にある。車社会に生きる我々は、誰もが同じ状況に陥る恐れがある。決して現在の被害者だけの問題ではないと知って欲しい。

制作著作 関西テレビ放送

最近の受賞作

- ★日本映画テレビ技術協会映像技術奨励賞・第3回座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル入選「三人の酒蔵」
- ★上海テレビ祭マグノリア賞入賞「ゆっち、25歳」（単発）
- ★坂田記念ジャーナリズム賞特別賞「脱北者たち」
- ★芸術祭優秀賞・ギャラクシー賞奨励賞・坂田記念ジャーナリズム賞・第44回ヒューストン国際映画祭プラチナ賞「父の国 母の国」
- ★第43回ヒューストン国際映画祭・アジアテレビ祭「天のゆりかご」（単発）
- ★ギャラクシー賞奨励賞「あの日の僕に会えたら」
- ★第六回放送と女性ネットワーク賞大賞「希望って、何？ 不安社会を生きる若者たち」
- ★日本映画テレビ技術協会映像技術奨励賞「淀川2009-2010」

2010年

- 11月23日 22歳のプレーボール～伝説の夏を戦った者たち～
- 8月13日 戦争と仏教～寺報が記した戦時の教え～
- 3月22日 淀川 2009～2010～知られざる生命の営み～
- 1月16日 震災15年 神戸・御蔵通から～まだ見ぬ復興の夢を追って～

2009年

- 11月15日 あの日の僕に会えたら
- 7月20日 希望って、何？～不安社会を生きる若者たち～
- 4月29日 父の国 母の国～ある残留孤児の66年～
- 3月20日 市民感覚一大不況と駅前再開発・宝塚2009

2008年

- 9月15日 自立への絆～地域療育の現場から～
- 8月15日 戦世(いくさゆ)を生きて～関西ウチナンチュ・最後の証言～
- 7月21日 路地裏のバレリーナ～天神橋筋・母と娘の二人歩き～
- 5月5日 ものつくる人々～生野から世界ブランドへの挑戦～
- 4月28日 手さぐり～児童虐待の真実を見つめた18年
- 3月25日 孤独をうけとめて～自殺志願者となつがる扉～
- 1月29日 ボンジア！あけみ先生～日系ブラジル人教員の1年を追う～

2007年

- 12月18日 届け！歌声～認知症が問う、親子の絆～
- 11月27日 恩讐のあなた 一隅のひかり 森永ひ素ミルク事件52年目の訪問
- 10月30日 ヒトに近いから～森と別れたチンパンジーの余生～
- 8月28日 コーポレートメディア～放送は誰のものか
- 7月24日 心に響く命の音～左手のピアニスト・智内威雄～
- 4月24日 あの日の記憶～JR福知山線脱線事故から2年～
- 2月27日 ボクらはみんな生きている～動物たちのうたが聞こえる～

2006年

- 11月28日 「哀鳥」～空に帰ったコウノトリ～
- 10月31日 平成18年度文化庁芸術祭参加作品 類人猿ボノボの棲む森で
- 9月28日 「胸の痛み」～アスペルガー障害を知っていますか～

8月10日 ウリハッキョ・私の学校
～巷の南北関係～

7月6日 ニッポンで幸せを…～在日
日系人の光と影～

5月25日 事故調査 ～JR福知山線
脱線事故1年～

3月30日 虐待の記憶との闘い ―
心の傷を癒す『支援』―

2月23日 遅すぎた夜明け～梅田貨
物駅・紆余曲折の15年～

1月26日 大震災から11年・神戸空
港の行方

2005年

12月8日 ～98%ヒト、チンパンジ
ーツバキ、はじめての出産～

11月3日 芸術祭参加番組「くらや
みにまけないで―虐待の記憶との闘
い」

7月25日 贖罪は偽りか～問われる
JR西日本の92日～

6月30日 「くらやみにまけない
で」～虐待の記憶との闘い～

5月26日 御崎の春

3月31日 「ボノボ最後の楽園」～
森に帰った隣人

3月17日 青年は笑野をめざす

3月3日 音と言葉とバレーボール

2004年

12月23日 ラジオマンの魂 ―震災
10年 あの時間こえた地震の声―

9月23日 韓流熱波 ―アイドルを目
指せ―

7月29日 夢とロマンと一攫千金
なんじゃもんじゃの人々

7月1日 「罪の意味」～少年A仮退
院と被害者家族の7年～

5月27日 桜

4月29日 遥かなる銀幕のマウンド

3月30日 帰らざる黄金の日々 南
海ホークスへの鎮魂歌